

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域社会の一員として、積極的に参加できる環境作りに努めます。個別性を尊重します。家族を支援します。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	入り口正面に大きく掲示し、日々目を通し職員間で、周知徹底を図っている。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	地域推進委員の方に、運営推進委員会の方にも理解を得ている。りんどう新聞を毎月発行し、家族の方にも理解を得ている。組長さんを通し、回覧板にてまわしている。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩が毎日の日課となっている。その際デイサービス、特養、りんごの木、お隣の水内荘の方々と交流を図り、楽しみのひとつとしている。近隣の方が気軽に寄って頂けるよう勤めている。	○
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	お隣の水内荘での夏祭りに参加し交流を深めている。又、町内でのふれあい広場に参加をする。	○
			地域、家族の方に、おやき作り・漬け物作り・季節の行事に関連したおやつ作り等の講座を開いて頂き、交流の場を増やしていきたい。
			東小学校の音楽会・運動会・中学校の音楽会等に毎年参加されているが、今回は不参加。来年度は取り組んでいきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	夏祭りの際、家族会を設け、地域の方にも参加して頂いたり、災害時の避難場所として提供できるよう、話し合いをもっている。実習生の受け入れも積極的に行なっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回評価された部分の内容について、改善点は質の向上に向け、取り組むよう努力している。		
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	なぜ運営推進委員会が必要か、地域包括センター所長より家族会で説明して頂いたり会議等で報告し、さらに話し合いの機会を設け、サービスの向上に活かしている。		
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護認定困難事例等の相談に、市町村担当者に相談し、サービスの質の向上に努めている。		
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	専門研修等に参加し、資料を職員に回覧し、本人の状況に於いて必要時には、支援・援助を図っている。		
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている	研修に参加したり、職員会議等で学ぶ機会を設け、防止に努めている。	○	月一度程度及び必要時、会議を開き、虐待がないか職員間でさらに周知徹底を図っていききたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	事前面接を設け、その場で出来る限りの情報をお聞きし、お互いに理解した上で面接を図っている。又、見学の機会を設け、納得された上での契約としています。		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者からの意見・不平不満を傾聴し個々の対応に添った対応を心がけている。又、苦情安心相談員来所している。		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	来所時、キーパーソンの印にて、出納帳を明らかにしている。健康状態については、月2回の往診日の結果を伝えている。職員の異動等があった際には来所時、りんどう新聞にてお伝えしている。	○	出納帳については、家族に電話で必要時連絡を図っている事もある。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情箱を設け、内容に添った対応を心がけたり、また、直接家族にお話したりアンケートをとったり等で反映をさせている。		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議の際に職員の意向提案を聞く時間をとっている。またその場に応じた機会を得て、状態状況の変化によった対応をとっている。		

GH泉平ファミリー(りんどう)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者に対応できる時間は、しっかりとした勤務調整を図っている。 (外出、行事、通院、緊急時等)	○	勤務変更の申し出を図り、必要な時間帯の確保を設けている。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動により不安を与えないように、時間を作り接したり、担当制を導入し異動等によるダメージを最小限に防ぐ配慮をしている。	○	職員同士の交流をさらに密にしていきたい。
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	他施設との交流研修又、豊智福社会の研修を設け技術を習得している。	○	研修マニュアルを作成し、活用していきたい。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会での勉強会、会議に出席し、交流を図っている。他施設との交流研修を実施し、サービスの質を向上させていく。		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員同士の悩み相談を常に聴く体制に心がけている。飲食会、職員旅行といった、ストレスの発散の機会を設けている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の周知徹底を図りつつ、変更があった場合に於いても、それぞれ把握が出来るよう書面、伝達で図っている。 運営者は、週1回程度来所されている。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前面接を行い、本人の不平、不満が解消できるよう傾聴し、不穏になる要素を減らしていくよう努めている。		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族の悩みを傾聴し、家族と本人が安心されるよう支援しながら、家族との信頼関係を作っていく。		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前に家族・本人と面接を行い、何が問題となっているか、しっかりと見極めた上での対応に努めている。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族が事業所を見学して頂くことから始め、本人が不穏となる材料を取り除き安心した落ち着いた生活が送れるよう、本人の居場所を見つけてあげる工夫をしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に寄り添いながら、昔慣れ親しんだ生活環境、言葉、食事の場面等を傾聴し参考できる部分は取り入れ、維持できる部分を支援している。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	本人の訴えを傾聴し、安心した生活が送れるよう促し、日々の出来事を報告し、家族と共に見守りながら支援をしている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族が来所された際や、行事に参加して頂いたり、時には家族と共に外出を通じ本人の状況を伝えたり、コミュニケーションを図っている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族・友人・親戚、御近所の人等来所時には、居室で一緒にお茶を飲んだりお話をされたり、思い思いに過ごして頂いている。	○	本人が大事にされてきた物・馴染みの人、引き続き大切にしていきたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員も一緒にお茶の時間をとり、又、散歩、お手伝い、グループワーク等を図り、常に仲間作りに努めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所後も、家族の付き合いをし、相談に応じている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプラン変更時には、カンファレンス等において本人の希望、家族の意向を聞いている。外出・外食など希望を聞き、実現できるように努めている。	○	なるべく本人の希望に添った対応を心がけて実施していきたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人からの聴取が難しい部分においては、家族から情報を得ている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの健康状態のチェック毎朝決まった時間に行なっている。又、行動・過ごし方を見守りながら、異変に気づき対応を心がけている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人・家族からの意向をお聞きし、会議等にて職員間の意見を取り入れ、本人に添ったその人らしいプランを作成している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		
38	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>		
41	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>		

GH泉平ファミリー(りんどう)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	推進会議の際や、支所へ出向いた時に協力をお願いしたり、家族にも支援センターの所在を知っていただく、家族会や行事の参加をお願いしている。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	隔週で、月2回～3回の往診を利用し、健康状態を図っている、他必要に応じかかりつけ医に受診をしている。		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症のレベルについても、かかりつけ医との相談の上、対応を図っている。精神科医も嘱託医となっている為、相談したり、協力を得ている。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	隣接している施設の看護師に相談したり、かかりつけ医の看護師に報告、相談を持ちかけている。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	医療機関との連携は取れている。入院時は、頻繁に職員が見舞うようにし、家族と情報交換しながら、回復状態と速やかな退院支援に向けている。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や、ターミナルに向け、本人や家族の意見を尊重しながら、出来る限り努力していく。	○	家族の中には、ターミナルを希望されている。方針を共有できる体制を図っていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	<p>重度化への技術習得・ターミナルに向けた勉強会・研修等に参加をしていく。介護と医療の連携をとり、看護師の配置等を検討していきたい。</p>
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	○	<p>不穏原因をしっかりと解明できる対応をとっていく。</p>
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	○	<p>個々のプライバシーにおいては常に気をつけていた対応を今後も心がけていきたい。</p>
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	○	<p>自分の思いが尊重できるよう、待つ介護を試みていく。</p>

GH泉平ファミリー(りんどう)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴日、AM入浴される方、PM入浴される方に、分かれているが、毎回本人に体調を含め希望を聞いている。買物や散歩等、一人ひとりの状態や希望にも配慮をしている。	○	外出日の入浴・行事等における入浴日の変更を、利用者の方にお知らせし、希望を聞いてからの対応としている。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ネックレス、ヘアピン、メガネを褒め、おしゃれを楽しみ他者から、褒められたい気持ちを大切にしている。本人の馴染みの理美容で希望に合ったカット、毛染めを取っている。	○	本人の望む理美容店に行かれるようにして行きたい。不定期に美容師さんに来所して頂いている。
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	時々メニューの希望を聞いている。利用者一人ひとりが出来ることをお手伝いして頂きながら、一緒に食事の楽しみを支援している。	○	希望を取り入れながら、出前、外食を実施している。
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒、たばこの嗜好はないが、おやつ時の飲み物を毎回聞いている。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	日中、パットを当てている人はいない。失禁されても自尊心を傷つけないよう処理したり、声がけをしている。	○	特に便の関係、自己申告であるので、排泄表もゆくゆくは必要とするため、しっかりとした記入方法等も含め検討していきたい。

GH泉平ファミリー(りんどう)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	「入浴」の言葉に反応して拒否にならないよう、スタッフ間で言葉がけを統一している利用者もいる。常に利用者間で会話できる体制を取っている。	○	入浴日、火・木・土と決まってはいるが、隣の入浴日をお願いすることも有る。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中の活動を活発にし、夕方不穏材料とならないような会話をし、安心して休息できるよう支援している。	○	自室で休息をとりたがらない方に関しては、和室を利用し、休んで頂いている。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一応役割分担は決めて、お手伝いをして頂いている。得意分野として、モップ作り、毛糸編みを行って頂いている。	○	洗濯干し、洗濯たたみ、キッチンのお手伝い、下ごしらえ、畑仕事、お花の手入れ、水くれ等、それぞれ楽しみを持ってお手伝いをして頂いている。
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人以外管理不可の為、職員管理となっている。一人のみ毎月定額の金銭管理を行い職員と一緒に小づかい帳に記録をしている。		
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	3回／週の食材買物に1～2回少数の利用者と一緒に外出をしている。散歩(日常的に)は皆さん喜ばれて行かれている。	○	3～4回／年 花見や、紅葉狩り、りんご狩り等外出を行って入るが、もっと増やしていきたい。

GH泉平ファミリー(りんどう)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節に応じた外出先へ少人数で、出かけられるよう機会を作っている。ふれあい広場、町の行事に参加、外出後は写真を掲示し、会話を楽しんでいる。	○	家族からの希望を得て、自宅への外出外食。お墓参り等に行かれている。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の姉妹や、娘へ電話や手紙の希望時、取次ぎをしたり、ポストへ速やかに投函して支援している。常に側に身内が見守っている安心感を与えている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	共有スペースを開放しているが、気軽に会話が出来るように各居室空間を居心地よく過ごせる様にしている。おもてなしを大切にしている。	○	面会来所時の際には、必ずお茶とお茶菓子漬け物等で一緒に過ごす時間をとって頂いている。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしない取り組みを徹底している。会議(月1度)で確認している。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	自由に行動できる取り組みをしている。	○	特に夏場はエアコンに頼らずオープンにしている。

GH泉平ファミリー(りんどう)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	自由な行動を見守りながら安全に配慮し、危険察知できる情報交換をしている。夜間は定期的な状態確認を実施している。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険を防ぐよう、日頃から起こりうる事故を想定し、スタッフ間で話し合う場を持てる取り組みをしている。薬は職員で管理。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハットを大いに活用し、事故防止に努めている。	○	誤嚥しやすい方については、職員が必ず隣に座る等の配慮をしている。転倒については、靴の見直し等を定期的に図っている。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	各研修に積極的に参加し意識を高めていっている。マニュアル作成。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に数回防災訓練を行なうと共に地域推進委員会の場において協力が得られるよう働きかけを行なっている。防災管理者を配置している。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	リスクマネジメント委員会に必ず出席し、リスクについて認識を高め家族等にも説明している。又、小さな出来事でも報告している。		

GH泉平ファミリー(りんどう)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタルサイン、及び表情・動き等で異変の発見に努めている。(医師のアドバイスを受けている。)	○	毎日、決まった時間にバイタルチェックを行なっている。その際にも体調の変化に気をつけている。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬確認、及びチェック表に記入し、症状の変化確認に努めている。又、疑問点は医師に問い合わせるようにしている。	○	服用薬の内容についてはファイルにて職員一人ひとりに把握に努めている。又、服用時も職員が手渡しで利用者に渡し、服用の確認を図っている。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	出来る限り、排便のチェックと、便秘予防のため、飲食物の工夫、活動を高める為の働きかけに取り組んでいる。	○	食育に関する知識を高めるため研修を充実していきたい。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後の口腔内清潔保持のため、一人ひとりに合った支援方法を工夫し、口腔状態の異変にも気づくよう観察をしている。	○	1回/年(数日に分け)公衆衛生専門学校の生徒さんの研修を受け入れ、専門的な知識と実習を通して認識を高めあっている。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎週1回の体重測定により、体重管理をしている。水分量のチェックはしていないが水分補給は十分にとって頂いている。最低1ℓの水分補給に努めている。	○	病的に問題のある方に関しては、量を制限したり対応をしている。散歩後、入浴後他細目に水分補給をとって頂いている。又、自由にお茶が飲めるようにポットを用意している。

GH泉平ファミリー(りんどう)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	流行感染の通達があれば即、マニュアルに添った対応、予防に努めている。又、症状の異変に気がついたら、情報交換を密に行なっている。	○	常にうがい、手洗いの励行をしている。食事・おやつの前には、必ずウェルパスで消毒を実施、又玄関入り口に外部消毒液を設けている。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材の管理には常に安全な食事を提供できるよう、一緒にお手伝いできる利用者の衛生管理にも配慮している。賞味期間内に利用する。	○	まな板、ふきん、使用量の激しい物に関しては、ハイター液で毎日消毒をしている。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	整理、整頓に心がけ安全に出入り出来ることを工夫し又、花・観葉植物等設置することで、親しみやすい空間になるよう努めている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	花や植物、昔なつかしい物、目を楽しませてくれる壁画を飾り、季節感を取り入れている。時々お香をたいている。新聞の掲示をしている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	おやつ、食事以外は自由にリビングにいたり各居室に入り、思い思いの時間を過ごして頂いている。ただし、こもりっきりにならないように働きかけも行なっている。	○	特に和室の場所で、洗濯たたみを皆さんで行なって頂いている。

GH泉平ファミリー(りんどう)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	<p>居室には、長年使っていた、馴染みの物や思い出の写真を飾ったりし、本人にあった工夫を家族とも相談しながら支援している。</p>	○	皆さんお花が大好きですので、各居室にお花を飾ったり、家族の方が持参されたり各々のお花が飾られている。
84	<p>温・湿度計を参考にしながら、体調不良を訴えないうちに冷房・暖房を調節している。又、起床時、日中こまめに換気を行ったり香を焚いている。</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>一人ひとりの身体機能を観察しながら安全に配慮し、見守りの中行動に移せるようソファの位置、玄関回りのイス等工夫している。</p>		
86	<p>混乱しないよう、次の行動を明確に示し、一度に多くの言葉がけしない様配慮し、本人の考える時間もとっている。安心して暮らせるよう工夫。</p>		
87	<p>洗濯物を一緒に干したり、取り込んだり出来るよう普通の家庭同様に、わずかな距離に物干し場を設けたり、工夫をしている。畑で野菜を作り、楽しんでいる。出窓を利用し、植物鑑賞をしている。</p>		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所に○をつけること)	
項目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

GH泉平ファミリー(りんどう)

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所には○をつけること)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="checkbox"/>	①大いに増えている
		<input checked="" type="checkbox"/>	②少しずつ増えている
		<input type="checkbox"/>	③あまり増えていない
		<input type="checkbox"/>	④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input checked="" type="checkbox"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="checkbox"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="checkbox"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="checkbox"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・利用者同士の会話(コミュニケーション)を大切に、話題を提供するのは職員だったりするが、職員が中心にならないようにしている。又、日中どんな形でも、9人の利用者とは必ず1回は関わられるように努めている。
- ・笑顔がひとつでも多く引き出せるような話題を提供し、「楽しい」と思える人間関係の構築をしている。
- ・自立した活動ができるよう言葉がけの工夫をし、手を出しすぎず見守りの姿勢をとっている。